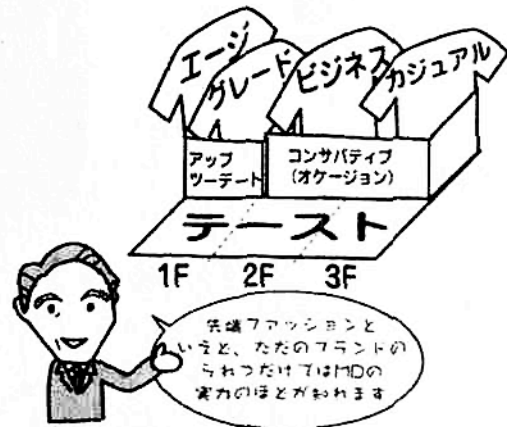


武永 昭光の

Q ある百貨店の紳士服の3フロアが「ビジネス」「カジュアル」「先端ファッション」となっています。これはどのように分類したのでしょうか。

A まず分類基準を考えます。ビジネス、カジュアルの分類基準はオケーシオンです。先端ファッションのフロアはテストで分類した「アドバンス」と「アップツーデート」か、あるいは「アドバンス」のみか、あるいは百貨店なので「アップツーデート」のみで構成されていると考

MD
基礎講座



現実から分類を想定

えます。この先端ファッションのフロアは、仮にアップツーデートの商品で構成されているとします。アドバンスは品揃えから外されたとします。他の2フロアはコンサバティブの商品で構成されていることとなります。このコンサバティブを更にオケーシオンで分類し、ビジネスとカジュアルになったということです。

この3フロア全体の大分類の分類基準は「テスト」になります。テストで「アップツーデート」と「コンサバティブ」に分類し、アップツーデートは1フロア、コンサバティブは2フロアで展開されることになったということです。そして、コンサ

分類の決定

④

バティブの中分類は、分類基準「オケーシオン」で分けた「ビジネス」と「カジュアル」になりました。

先端ファッションの場合、ブランドの個性を強調するために、百貨店としても取引先としてもブランドでまとめたいた考えるはずですが、しかし、先端ファッションのフロアと言えども、ただのブランドの羅列ではなくエージとしての固まり、あるいはグレードとしての固まりが見えてこなければなりません。それがあかないかでMDの実力が分かります。

(ショーアンドテル代表)